

仕様書

1. 業務名称

京都府立丹後郷土資料館リニューアル後の施設運営事業のあり方検討業務

2. 業務の目的

本府は令和5年12月に「丹後の新たな『歴史×文化×交流』の拠点へ ～丹後郷土資料館リニューアルの概要について～」を策定し、京都府立丹後郷土資料館のリニューアル概要を公表した。

本業務では、令和8年度中のリニューアルオープンに向け、リニューアル整備が進んでいる施設運営事業のあり方について検討を行う。

3. 委託期間

契約締結日から令和8年3月31日まで

4. 業務内容

(1) 前提条件の整理

これまでの本府における検討経緯を収集し、前提条件を整理する。

(2) 施設運営事業のあり方の検討

ア 関係法令及び関連計画等の整理

リニューアル後の施設運営にかかる関係法令及び関連計画等について整理する。

イ 施設運営手法の整理・検討

(ア) 施設運営手法の類型整理

リニューアル後の施設運営手法として、以下の類型を想定して整理する。

- 本府直営による施設運用手法（従来手法）
- 本府直営部分を維持しながら一部を民間事業者による運営とする運営手法
ただし、一部を民間事業者による運営とするにあたって、本府直営にすべき事業、官民連携が可能な事業、民間事業者のみの運営とするべき事業について分類すること。
- 指定管理制度に基づく施設運営手法
- その他、調査実施業者が有効と考える施設運営手法

(イ) 施設運営モデルの内容の検討

(ア)で類型整理した施設運営手法について、リニューアル後の施設運営で想定される以下のモデルを検討・整理する。

- 事業方針、事業構成、事業計画概案（多目的ホールの活用方法及び活用見込みを含む）
- 管理運営方針、管理業務構成、管理計画概案
- 運営経費概算（多目的ホール、カフェ、ミュージアムショップ、ネーミングライツ等の使用料収入及び経費見込みを含む）

(ウ) 施設運営手法の比較検討

(ア)及び(イ)で整理した施設運営モデルと類型整理により、以下の項目について検討し、最も望ましいリニューアル後の施設運営手法を検討する。

- 各類型において想定されるリスクの抽出及び官民のリスク分担案の整理
- 施設運営手法の定性的評価・定量的評価を踏まえた総合的な評価を行う

(3) 事業化に向けた課題の整理及びスケジュール案の作成

事業化に向けて解消すべき課題を整理するとともに、事業化に向けたスケジュール案を作成する。

(4) 民間事業者の参画意向調査

本事業に係る民間事業者サウンディングを実施し、事業者の参画意向及び事業条件等の精緻化を図る。

(5) 施設運営事業準備に係る支援

本府が作成する本施設運営事業に係る公募書類等に対する助言等を行う。

5. 中間報告書の提出

上記4.(1)～(3)をとりまとめた中間報告書を令和7年8月21日までに提出する。

- 中間報告書原稿一式（電子データ）

6. 最終報告書の提出

契約期間満了までに、上記(1)～(4)をとりまとめた最終報告書を提出する。

- 最終報告書原稿一式（電子データ）